

# 平成29年度協働によるまちづくり先進地視察

日時：平成29年6月28日（水） 14:00～16:00

場所：佐賀市嘉瀬公民館

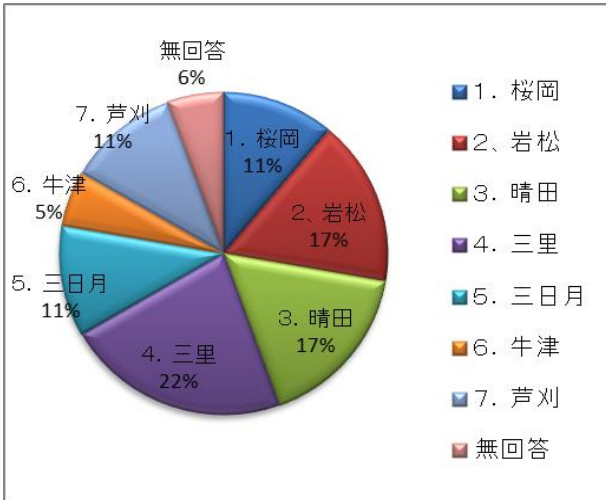
参加者：地域住民（区長会・まちづくり協議会設立準備会・青少年育成会・育友会・公民分館長会） 19名  
市職員（小城市企画政策課副課長、係長、主事） 3名

計 22名

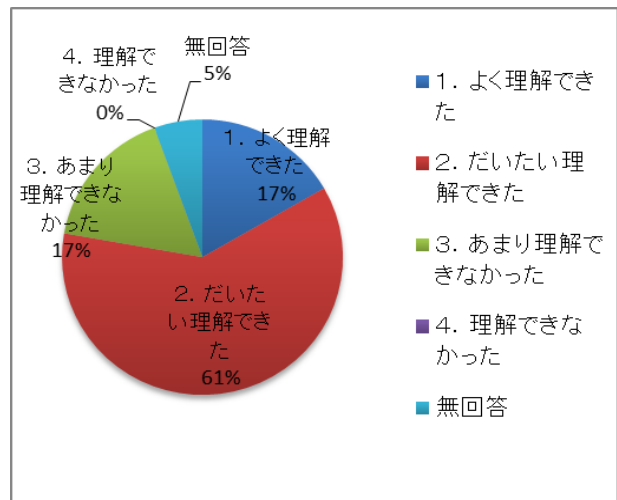
内容：佐賀市の地域コミュニティへの取組みについて（佐賀市協働推進課）  
嘉瀬校区の地域コミュニティづくりについて（嘉瀬まちづくり協議会）

## 視察参加者アンケート集計結果（回答者：18名）

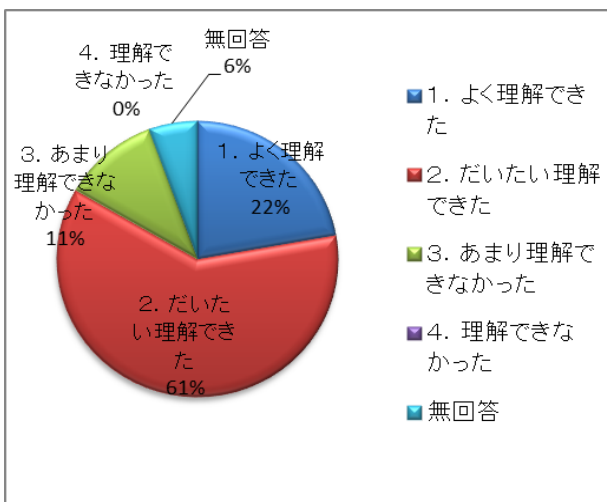
### ・参加者の居住地区



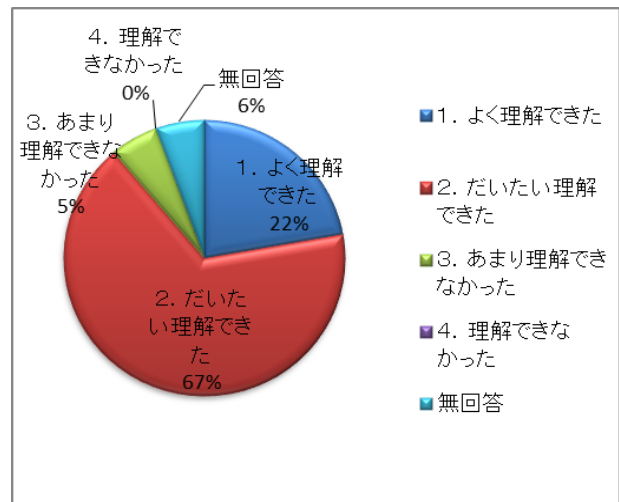
### ・「地区でのまちづくりの進め方」の理解度



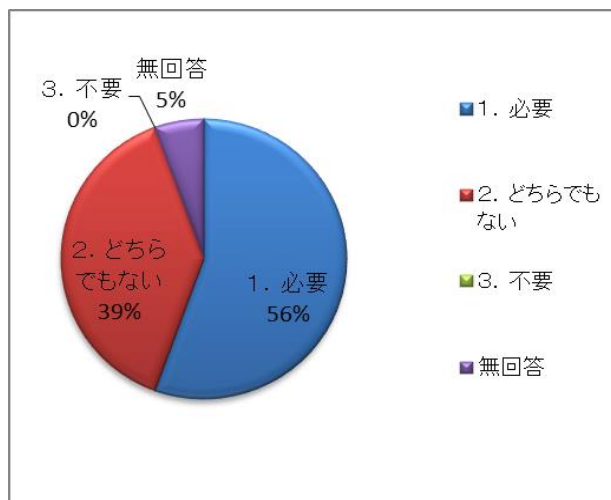
### ・「まちづくり協議会の組織」の理解度



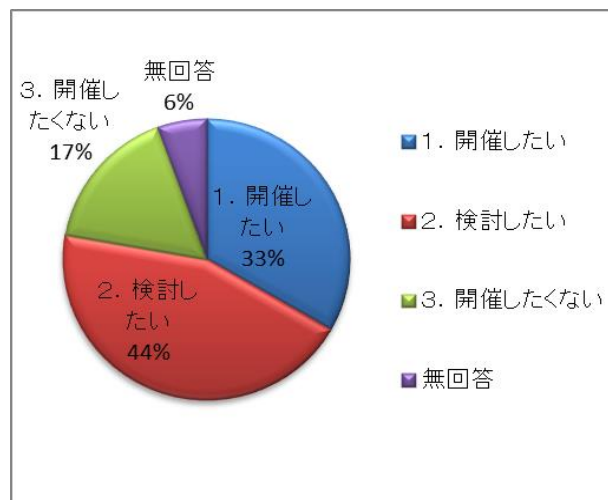
### ・「まちづくり協議会の取組み」の理解度



## ・居住地区での「まちづくり協議会」の必要性



## ・居住地区でWSの開催希望



## ○嘉瀬まちづくり協議会の取組みで印象に残った点【自由記載】

- ・小学校との連携に感銘。地域の特色を把握しての課題が明確で、なるほどと思った。(桜岡)
- ・よく組織化されている。1日ではできない。まず始める、始めないと進まないと思った。取っ掛かりが難しい。(岩松)
- ・老人会と小学校で取り組まれている「スズメサロン」という給食を利用した交流がとても印象に残った。(岩松)
- ・子どもたちを中心に大人たちがどのように仲間作りをしていったか、少しずつ組織をまとめていかれたように思った。(晴田)
- ・子どもを中心とした地域づくりで各役員の話聞き、地域を愛する気持ちがすごい。(晴田)
- ・公民館を中心に子どもたちを取り込んでの活動(三里)

## ○先進地視察の感想・意見【自由記載】

( 課 題 )

- ・自地でたちあげるのは容易ではないと痛切に感じた。準備会発足前の準備として、話し合えるスタッフを揃えることが第一かなと思った。(桜岡)
- ・地元にあった組織づくりが必要。地域性がある。(岩松)
- ・地域でどれだけ力を合わせて、まちづくりに取り組んでいけるかが課題だと思う。

( 感 想 )

- ・昨年の川上校区との違いがあり、2年続けて先進地視察に参加して良かった。地区ごとに様々な組織、運営のあり方が可能ということがとても良いと感じた。(岩松)
- ・公民館のあり方について、一度考え方を考えてみたい。子どもたちとの関わりを持つ方法を考えてみたい。(三里)
- ・高齢者のパワーを利用したい。(三里)